

Q1 見附市では、どのような豪雨災害の危険性がありますか？

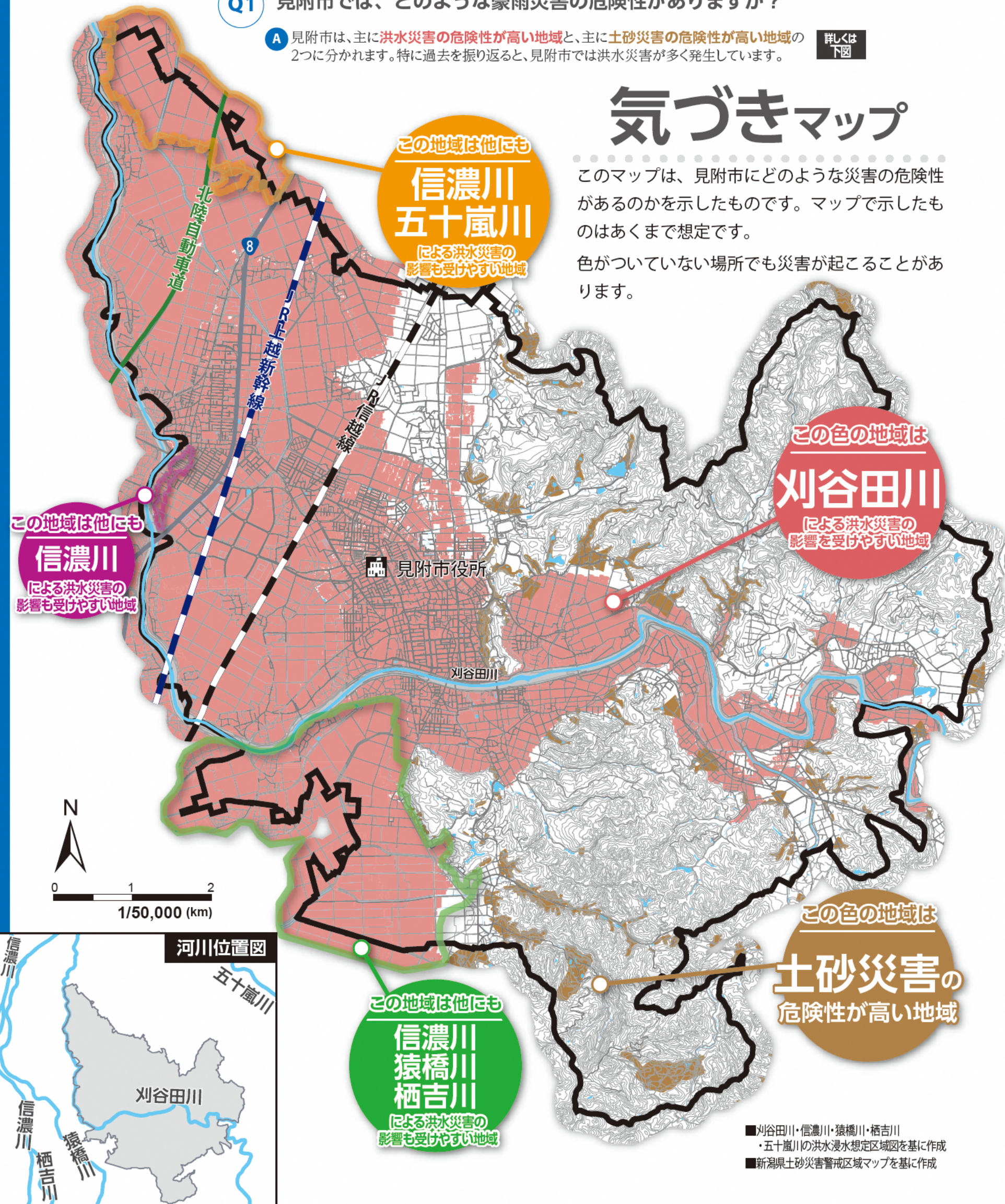
A 見附市は、主に**洪水災害の危険性が高い地域**と、主に**土砂災害の危険性が高い地域**の2つに分かれます。特に過去を振り返ると、見附市では洪水災害が多く発生しています。

詳しくは
下図

気づきマップ

このマップは、見附市にどのような災害の危険性があるのかを示したものです。マップで示したものはあくまで想定です。

色がついていない場所でも災害が起こることがあります。



■刈谷田川・信濃川・猿橋川・栖吉川
・五十嵐川の洪水浸水想定区域図を基に作成
■新潟県土砂災害警戒区域マップを基に作成

洪水災害について

- Q2** 平成16年の7・13新潟豪雨災害のような水害は、また見附市で起こるのでしょうか？
A 新潟豪雨災害以後、見附市では河川改修が進められてきましたが、近年、あの時の大雨を超える豪雨災害が全国各地、世界各地で発生しています。 詳しくは
05ページ
- Q3** 見附市で考えられる洪水災害には、地域ごとにどのような特徴がありますか？
A もし、刈谷田川、信濃川、猿橋川、栖吉川、五十嵐川が決壊した場合、その影響範囲やどの程度浸水するかは、皆さまがお住まいの地域ごとに異なります。 詳しくは
07-08ページ

避難・情報について

- Q4** 洪水発生時に避難すべきでしょうか？自宅にとどまるべきでしょうか？
A 洪水時に避難すべきか否かは、お住まいの地域や自宅の形状、家族構成、そして何よりもタイミングによって異なります。 詳しくは
09-22ページ
- Q5** 自宅外に避難するとき、どのように避難すればよいでしょうか？
A 浸かった水の中を避難することは大変危険です。早めの避難が大原則ですが、やむをえず浸かった水の中を避難する場合は、様々なことに気をつけましょう。 詳しくは
27-28ページ
- Q6** アパートマンションの中高層階などに住んでいて避難するつもりはありません。家にも大丈夫ですか？
A 自宅が浸水しなかったとしても、救助が到着するまで様々な不便が生じる可能性があります。 詳しくは
29-30ページ
- Q7** 洪水時には、どのようなタイミングで避難すべきでしょうか？
A 市から避難勧告や避難指示(緊急)が伝えられたら、避難を開始することは言うまでもありませんが、どのような場合も確実に発令されるとは限りません。早めの自主的な行動が、あなたとあなたの家族を守ります。 詳しくは
23-24ページ
- Q8** 避難勧告や避難指示(緊急)は誰からどのように伝えられるのでしょうか？
A 洪水災害の危険性が高まった場合は、様々な場所や方法で情報が発信されますが、確実に伝わるとは限りません。皆さま自身があらゆる情報網を使って積極的に情報を得ることが重要です。 詳しくは
23-24ページ
- Q9** ひとりで避難することが難しい人はどうすればよいですか？
A 自然災害で犠牲となる方の多くが高齢者や身体の不自由な方など、いわゆる災害時要援護者と言われています。普段からどのように避難するかについて家族や地域で話し合っておくだけでなく、いざという時に協力し合えることが大切です。 詳しくは
31-32ページ

土砂災害について

- Q10** 見附市で考えられる土砂災害には地域ごとにどのような特徴がありますか？
A 土砂災害にはがけ崩れや地すべり、土石流などいくつかの種類があり、それが発生する可能性は地域ごとに異なります。 詳しくは
11-24ページ
- Q11** 土砂災害の危険な地域では、どのような状況になったら避難すればよいですか？
A 土砂災害はいつ、どこで起こるかが非常に分かりにくい災害ですが、その目安となる情報が行政から発信されています。また、前ぶれとしての異変にも気をつけましょう。 詳しくは
23-24ページ

もくじ

MAP 気づきマップ 03

7.13 水害 05

見附市の豪雨災害の想定 06

MAP 洪水浸水想定区域図 07

逃げどきマップの使い方 09

MAP 逃げどきマップ 刈谷田川

- 1 今町地区 11
- 2 新潟・見附地区 13
- 3 北谷地区 15
- 4 葛巻地区 17
- 5 見附・上北谷地区 19
- 6 北谷・上北谷地区 21

避難を助ける情報 23

情報の入手方法 25

避難のための日頃の備え 27

自宅滞在のための備え 29

地域のちから 31

ため池ハザードマップ 33

地震
液状化しやすさマップ 37

メモしておきましょう
マイ・タイムライン 裏表紙